

## 第33回技能グランプリの概要

## 1 趣旨

特級、一級及び単一等級の技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資するもの。昭和56年度から毎年開催され、平成14年度からは隔年で開催。

## 2 主催

厚生労働省、中央職業能力開発協会及び一般社団法人全国技能士会連合会

## 3 日程及び会場

令和8年2月27日(金)	競技会場下見、開会式(各職種の競技会場)
28日(土)	競技
3月1日(日)	競技 ※ 一部職種は先行して実施
2日(月)	閉会式(グランキューブ大阪)

## 4 競技会場

インテックス大阪(大阪市)ほか3会場

## 5 参加選手数

30職種 430人

本県選手 石工等9職種12人

※ 参加資格

県職業能力開発協会長又は県技能士会連合会長から中央職業能力開発協長に推薦された特級、一級又は単一等級の技能士(過去のグランプリで第1位の者でないこと)

## 6 前回の本県参加選手数及び入賞者数

## (1) 参加選手数

6職種8人参加(全国30職種 379人参加)

石工2人、建築大工2人、かわらぶき1人、畳製作1人、壁装1人、表具1人

## (2) 入賞者数

4職種5人入賞

銀賞: 4人(石工、畳製作、壁装)

敢闘賞: 1人(建築大工)

## 【参考】技能競技大会の全体像

## (1) 技能五輪全国大会

- ・ 青年技能者の技能レベルの向上を図るとともに、技能尊重の気運醸成を図ることを目的とした23歳以下の全国大会
- ・ 入賞者は知事又は副知事表敬を実施

## (2) 若年者ものづくり競技大会

- ・ 企業等に就業していない者を対象に、技能競技を通じて就業促進を図り、若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的とした20歳以下の大会
- ・ 入賞者は副知事表敬を実施

